

## 活動に至った理由・背景

「空き家をそのまま放置してしまっているのはもったいない。なにか地域のために役立つような使い方をしてくれないだろうか。」きっかけは家主さんの一言でした。東京在住でめったに滋賀の上岡部町には戻らないという家主さんのニーズ、滋賀の集落での暮らしや古民家に興味があり、実際のフィールドで学んだり活動したりしたいという学生のニーズ、空き家の増加や若者の集落離れに対して危機感を感じている地域のニーズが合わさり、それらを環人ネットがつなぐことで、2011年の冬から活動がスタートしました。

## 活動地域の概要

滋賀県彦根市上岡部町は人口 236 人 73 世帯、1/3 が 65 歳以上の集落です。二世帯家族は少なく、少子高齢化が進行しています。空き家が近年増加しており、持ち主が上岡部町を離れてしまっているケースも多く、その維持管理が問題となっています。地学的特徴として、かつては舟運路、生活用水、農業用水として利用された文祿川が集落わきを流れており、地下水が豊富に湧いています。現在生活用水は引き込まれておらず、かつての水路「使い川」は側溝になっていますが「使い川ざらい」という集落清掃の定期行事によってそのなごりがみられます。また、集落の北側に位置する荒神山では毎年春に稲枝地区の9集落による「太鼓登山」が、秋には「子どもみこし」の祭りがおこなわれます。集落の抱える問題は少なくありませんが、みな自らの住む場所に誇りを持っており、後世のためにも住みやすい集落づくりをめざしたいという意志を持っていることがヒアリングからうかがえました。

設立年月 2011年1月  
法人化年月 2011年1月  
メンバー数 会員40名  
代表者名 辻村 琴美 (つじむら こelmi)  
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500  
滋賀県立大学環境共生システム研究センター内  
(登録住所：彦根市石寺町 1263)  
TEL.0749-28-9853  
kamiokabe@hotmail.co.jp  
<http://kamiokabeproject.blog.shinobi.jp/>

団体のミッション  
滋賀県の地域再生にかかるさまざまな課題に対して  
滋賀県立大学近江環人地域再生学座で獲得したスキルおよび  
ネットワークを活用し、持続可能なまちづくり、環境保全、  
地域活性化に寄与することを目的としています。

特定非営利活動法人環人ネット (かみおかべ古民家活用計画)

〔滋賀県彦根市〕

# 古民家再生 × 学生シェアハウス × 集落ステイ



活動拠点 上岡部町の古民家=SLEEPING BEAUTY



畑づくりワークショップ



食卓イベント

食卓を囲むことで、古民家をどのように活用していくかのイメージをふくらませていきました。

活動をスタートするにあたり、「地域よし学生よし家主よしのかみおかへの三方よし」を大きなテーマに掲げました。活動の初年度ということもあり、まずは上岡部町の方々に活動を知っていただき、興味を持っていただくことが大切と考え、年間を通して様々なイベントを主催してきました。それらを通して、メンバー間の交流はもちろんのこと地域の交流はもちろんのこと地域の方々と交流を図ることができました。加えて地域行事へ積極的に参加したことで、より地域との関係性を深めることができ、集落での暮らしに触れる機会にもなりました。私たちが主催したものとしては、畑作りワークショップ&食卓イベント、梅酒作りワークショップ、トマト祭り、万華鏡ワークショップがあります。

まずは活動メンバーを広く募るために、畑作りワークショップ&食卓イベントを開催しました。ここでは活動に興味を持ってくださった多くの方々が古民家に集い、みんなで畑作業をしたり

# トマト祭り

事前に閲覧板に広告を載せていただいたことにより、地域の方に多く参加していただき、さらに私たちの活動に興味を持っていただいている方が多いことがわかり、大変嬉しく思いました。この時にはどのように活動を伝えるか、知ってもらおうか、という広報の重要性も実感しました。



トマト祭り。庭で育てた野菜で手作りピザをつくる



梅酒づくりワークショップ



太鼓登山

太鼓登山、地藏盆、秋祭りに参加しました。私たちが町内で活動していることについて、まだ詳しくはご存知でない方もいらっしゃると思います。地域の方々に交じって、それらの行事に参加させていただいたことで、私たちの存在や活動を知ってもらい、関係を深めていくことができました。今後も地域行事には継続的に参加し、地域との関わりを持ち続けたいと考えています。イベントや地域行事で知り合った方々には、しばしば声を掛けていただいたり、農具をかしていただくなどの手助けをしていただいたりとお世話になっていきます。

地域の声

## 平成24年度 上岡部町自治会長 田中久夫さん

いつも、上岡部ってどんなところ？と聞かれて「珍しいものも自慢できるものも何アんにも無い」と返事するのが普通の田舎町でした。幸いに大きな災害に会うこともなく平々凡々と時が過ぎて高齢化は進み、通りは愈々静寂感漂う〜って風でした。そんな時に、県立大生の皆様が来られて空き家となった古い家を利用して活動されるという話が持ち上がり、久しぶりに活気ある話題となりました。どうしていいかわからないまま、皆様方の思ったようにやっていたくことにして、その進展を楽しみにしておりましたが、みるみるうちにその家屋に生気が溢れ新しい息吹が宿ののを実感した次第です。町民も楽しみにして色々な行事に参加させて頂いております。今後も何か今あるものを活かして、益々活動を盛んなものにされることを期待しております。

# 地域に、とことんかかわる。

## 地域行事



## 万華鏡ワークショップ

初めて地域のニーズに応える形で開催したイベントでした。子ども向けのイベントをしてほしいという地域からのニーズがあったこと、また子ども向けイベントを主催したいという滋賀県立大学OGがいたことで実現することができた企画となりました。親子での参加の方に大変好評なイベントとなりました。改めてこのプロジェクトの目標である「かみおかべの三方よし」に一步近づけたと感じました。



# 学生主体の改修事業として

古民家改修

10年間にわたり空き家状態であった古民家を活用するに当たり、まずは水回りの整備、そして室内に散乱する不用品の処理が急務でした。予定していたトイレ・キッチンの整備、そして大量にあった不用品のリサイクルは無事に完了することができました。イベント開催に必要な改修作業には、環人ネットの呼びかけにより多くの方の協力を賜り、また作業中には様子を見に来たご近所の方から、夏は野菜を、秋には柿を、と季節折々の差し入れをいただくなど、ただ改修作業を行うのではなくコミュニティの中で集落の暮らしに触れながらの活動になったと感じています。



大家さんを変えた改修ヒアリング



大掃除で出てきた不用品



キッチン制作

一般的には改修が完了してからイベントを開催していくべきだったのでしようが、改修とイベントを並行して行っていたため、良い点と悪い点をふくめさまざまな収穫がありました。

まず良い点としては、改修前の様子をイベント参加者の方に見ていただき、色んなコメントをいただいたことです。地域の方であれば、「子どものころよく遊びに来ていた」「今はこんな風になっていたんだね」といった古民家になつての思い出話を、初めて来る他地域の方からは「おもしろいものがたくさんあるね」「野菜をあらう洗い場があるんだね」など、新鮮さを持って古民家についてコメントをいただきました。

逆に悪い点としては、予定よりも改修作業が遅れてしまったことです。イベントには、古民家を活用する活動・地域とのコミュニティ作りに興味がある沢山の学生の参加がありましたが、実際に改修をするとなると、女性の参加者が多かったのと、社会人と学生の時間的な制約や予算の制約で思うように進まないのが現状でした。これに関しては計画の甘さや優先順位の設け方などを反省し、来年度からの活動に生かしていかなければならないと考えています。



整備後のキッチン



改修計画模型



住居実測



民家・不動産は財産であることから、このような活動を持続させるためには、民家の持ち主である大家さんと「賃貸契約書」を交わし、法律に基づいた権利関係を確立、そして善良な管理者として注意義務を履行し、維持管理をして行かなくてはなりません。

そのようなことから、最初に賃料の設定やルール作り到大家さんと着手しましたが、私たちにまだ毎月支払う賃料・予算が無いことや私たちの過去の活動・実績、そしてこれからの想いなどをくみ取って頂き、賃料などの取り決めなどはもう少し活動の形が見えてきてからでもいいということ、不動産賃貸契約は延期させていただいております。しかし、次年度からは学生がシェアハウスとして住まう予定で、費用も発生して来ますので、賃貸契約など改めてルール作りに着手し私たち環人ネットが学生と大家さんとの橋渡しを行い、大家さんに対して金銭的な負担にならないよう、進めて行く予定です。

空き家を持っている多くの方は、住まいの修繕や借主さんとのトラブルなどで「賃貸に出すと面倒」と考えておられますから、この地域でのモデルケースとして空き家の持ち主さんへ発信し、他の空き家利用につながればと思っています。

地域住民からの期待が大きいこの事業は、本活動助成によってキックオフ出来ました。これからはこのボールの流れを止めないよう環人ネットの多様な人材でパスを持続して行き、上岡部はもちろん県立大学を中心に周辺集落にも波及させ若者と地域住民の交流を広げることで、将来はこの中から地域に根付く人材が現れることを願っています。

## 今後の予定

### 古民家改修

次年度からはシェアハウスとして学生が住みながらの改修を行う予定です。住みながらの改修なので改修自体は前年度よりもスピードアップするかと思えます。次年度の改修では、薪ストーブの設置や塗り壁の補修、キッチン設備の充実と畳と床の補修工事などを予定しています。改修作業は、学生自ら出来るよう環人ネットが抱える人材から専門家が外向き指導していく予定です。

### イベント

引き続き、地域行事への参加と食卓イベントの二本柱でイベントを行っていきます。すでにこの4月に行われた毎年恒例の「太鼓祭り」に参加させていただきました。企画イベントでは畑で作る野菜を使った食卓イベントはもちろんのこと、滋賀県立大学のそのほかの学生団体との連携も図っていきます。滋賀のお寺で廃棄されるロウソクをリサイクルキャンドルにする団体「あかりんちゅ」とのコラボレーションによる「キャンドル作り教室」や、国際コミュニケーション学科の学生との連携による「世界の料理教室」などの開催を予定しています。

月	古民家改修	イベント	他
4月	◎畑作りワークショップ	●太鼓登山(4/14) ◎新入生歓迎会(4/20)	
5月		●ソフトボール大会	・近江楽座申請 ・近江楽座プレゼン
6月	◎壁塗り 換気扇の取付	◎梅酒作りWS	
7月		●川清掃	●夏季総会
8月	◎畳の入れ替え 床下のはりませ	●地藏盆 ◎キャンドル作り教室	
9月		●秋祭り ●道普請 ●運動会 ◎お月見イベント(9/19)	
10月			・湖風祭出店(10/9, 10)
11月	◎薪ストーブワークショップ ◎収穫祭	◎世界料理教室	・近江楽座中間報告
12月		●川清掃 ◎クリスマス料理教室	
1月		◎餅つき大会	●定期総会
2月			
3月			・近江楽座活動報告書

※◎: 古民家での活動・イベント / ●: 上岡部町の行事への参加

### 団体設立の経緯

滋賀県立大学で実施されたまちづくりの担い手育成プログラム「近江環人地域再生学座」修了生有志により団体を設立し、環境に配慮したまちづくり及び人財育成の支援活動を実践しています。東日本大震災の現場からの報告会(4/15・サテライトプラザ彦根)の主催、彦根市市制75周年事業ひこにゃん田んぼアート(滋賀県立大学からの受託事業)、第15回環人現場研修会などを実施してきました。

### 「かみおかへ古民家活用計画」事業の設立経緯

彦根市上岡部町には、持ち主が滋賀を離れてしまい空き家として放置されているたくさんの方の民家が存在します。「かみおかへ古民家活用計画」で扱う空き家の古民家は、「地域のために活用しながら家の維持管理をしてほしい」という家主の意向により、環人ネットの理事、吉本智氏が家主と滋賀県立大学の学生とを引き合わせました。家主が、屋根の修復を吉本氏が勤務する工務店に依頼したことがきっかけです。上岡部町に眠る空き民家を集落にとっての地域資源、そして同じく滋賀県彦根市に所在している滋賀県立大学の学生にとっての学びの場と捉え、学生の企画・設計によって改修を行い、古民家を活用することを目的にしています。